

～ 大嶋・奥津嶋神社だより～

むべなみかな



《発行》令和7年9月／大嶋・奥津嶋神社氏子総代

渡合橋に伝わる大蛇伝説

～百々神社の不思議な始まり～



皆さん、普段何気なく通っている長命寺川の渡合橋に、古くから語り継がれる興味深い伝説があることをご存じでしょうか。

今から千年以上も昔、宇多天皇の時代のことです。渡合橋の下に大きな蛇が棲みつき、橋を渡ろうとする人々を悩ませていました。村人たちは恐れて橋を渡ることができず、困り果てた末に、宇多天皇の第八皇子である敦実親王に退治をお願いしました。

親王は佐佐木社で祈願を込めてから橋に向かうと、水面に恐ろしい大蛇が姿を現しました。その大蛇はなんと四つの目を持ち、両眼は太陽と月のように光り輝いていたといいます。親王は見事に弓矢でその目を射抜き、大蛇を退治されました。

村人たちは、退治された大蛇の靈を慰めるため、橋のそばに小さな社を建てました。これが、私たちの百々神社の始まりと伝えられています。

また、大蛇の「四つ目」にちなんで、佐々木京極家の家紋が四目紋になったという説も残っています。

百々神社は地域の道祖神として、悪いものが村に入ってこないよう守ってくれています。そして珍しく北向きに建てられているのも、「北風に向かい立つ」ことから喘息封じのご利益があるとされ、遠方から多くの方が参拝されています。

今年のお正月は『巳年』ということもあり、初詣には多くの参拝者で賑わいました。このような古い伝説が息づく百々神社は、私たち地域の大切な宝物です。散歩がてら、ぜひ一度お参りいただき、悠久の歴史に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

さて、9月より新しい祈祷旗の申し込みも始まりました。皆さんの「健康祈願」を願い、奉納者様の長寿とご家族の安寧を祈願して、参道などに揚げさせていただきます。

この機会に是非ともお申込みいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

10月の予定（行事案内）

- ・10月4日（土曜日）月例祭 百々神社 午前10時より祈祷受付開始
- ・10月19日（日曜日）秋季例大祭 大嶋・奥津嶋神社 百々神社

大嶋奥津嶋神社ホームページ



インスタグラム



お気に入り登録・フォローをお願いします